

水産業のスマート化

専門研究員 山本章太郎

近年、一次産業である農業や畜産業、林業、そして水産業の世界にも ICT や AI といった先端技術が各所に導入され、スマート化が進んでいます。農業では無人で作業をするトラクターやドローンを使った農薬の散布、畜産業では畜舎の温度管理や自動給餌機などが導入されています。水産業においても、漁船の設備であるレーダーやソナー、魚群探知機、航跡記録装置、漁労設備であるラインホーラー、ネットホーラーなどはかなり昔から導入されており、決してスマート化が遅れているわけではありません。しかし、漁業の現場は海の上ですから、コンビニエンスストアは無いし、灯り也没有。時化れば危険を伴うし、肉体的にも重労働になってしまいます。オマケに朝も早くて……。漁業は他の一次産業と比べても厳しい労働環境におかれています。これまでも、相模湾試験場では水中ドローンや空撮用ドローンを活用し、深い海の底にある定置網のアンカーロープや、上空から定置網の全体像を確認する技術を開発してきました。これからは、こうした技術を漁業者の皆さんに導入していただき、作業の効率化と安全性の向上、労力の軽減を図り、水産業のスマート化をさらに進めていきたいと考えています。



↑
空撮用ドローン

水中ドローン

